

②虫孔を針金で突いて虫を捕殺する(見
①ノミ(カッター)で虫孔の所まで掘る。
月17日掲載、写真③)。手順は次の通り。
学校1年生の皆さんには過日この方法
でご協力を頂いております(河北新報7
る方法をご紹介します。なお、金ヶ瀬中
そこで今回は虫孔を塞いで酸欠にす

皆さんは蜂のような虫を蜂と違って
一瞬ヒヤツとした事はありませんか？
これは擬態と言って鳥などの天敵か
ら身を守る目的で姿形を似せることを
言うそう、蛾の仲間であるコスカシバ
(写真①)も蜂に似ています。運よく捕
食を免れたこの虫はやがてモモやウメ、
サクラに寄生して木を枯らすほどの大
害虫となります。
コスカシバは幹や主枝の割れ目に産
卵し、9月頃に発生のピークを迎えま
す。発生直後までは農薬散布で対処で
きますが、卵がふ化し幼虫が樹皮下に穿
孔すると少し厄介です。形成層付近を
加害し終齢幼虫では体長は2cmぐら
い、加害深さも2cmぐらいに達し木は
相当なダメージを受けます(写真②)。
その場合には幹の表面から鋸屑状のフ
ンと茶色のヤニが出ていますので外科的
駆除を行います。夏期が良いですが、冬
期でも老齢幼虫がいるので駆除は可能
です。



つからなくても良し)。
③加害痕・切削痕を整形(治りが早い)。
④癒合剤塗布 癒合剤とは防腐剤のよ
うなもので傷口を守って植物を健全に
保ちます。市販品以外に安価な木工用
接着剤でも代用できます。墨汁もニカ
ワという天然の接着剤成分(防腐や除菌
に効果)が含まれるため一応使えます。
両者を混ぜ水で薄めて噴霧する方法も
あり。
⑤野外から粘土を採り、水で練って傷口
を埋める(酸欠促進効果)(完了)。
そろそろ剪定の時期ですね。面倒で
もついでにやってみてはいかがですか？

第31回 お手軽害虫駆除 コスカシバ編



町内在住の樹木医

尾形政幸先生の花は桜木



Mayor's column
さくら並木
-町長コラム-

仙南医療圏(2市7町)の現況と課題
~命と健康を守る『みやぎ県南中核病院』への期待~

大河原町長 齋 清志

国は2025年に向けて、病床の
機能分化や連携を進めるために、医
療機能(高度急性期・急性期・回復
期・慢性期)毎に医療需要と病床の
必要量を推計して定める『地域医療
構想』の策定を県に求めました。現
在、仙台医療圏での県が主導する4
病院の再編構想(県立がんセンター
と仙台赤十字病院を名取市に、東北
労災病院と県立精神医療センターを
富谷市に)に関する様々な話題が、連
日のように報道されています。この
件へのコメントは控えますが、仙南
医療圏における『地域医療構想』の
示す医療提供体制についても高い関
心が生まれ、住民意識の高揚につな
がることを切に期待しているところ
です。
仙南医療圏で地域住民の命と健康
を守る砦となっているのは、『みやぎ
県南中核病院(以下、当院)』である
ことは明らかな事実です。当院は、
角田市、柴田町、村田町、大河原町が
開設者の組合立の病院です。現在
は、地方公営企業法の全部適用を受
けた企業団として運営され、昨年8
月で20周年を迎えました。令和5年
4月現在34診療科を備え、常勤医師
73名、前後期研修医師36名、常勤看
護師(助産師・保健師を含む)32
4名、薬剤師他技師134名の医療

スタッフによって診療を行っていま
す。令和4年は、約4400件の救
急搬送を受け入れ、近年では1市3
町以外からの外来・入院患者が急激
に増加しており、県南医療での当院
の果たす役割と責任が一層高まる現
況にあります。
しかし、民間シンクタンクの調査
によると医療機能が高度になるほど
医療収支の赤字幅が大きくなり、慢
性期・回復期・急性期・高度急性期
と進むほど医療収支比率が悪化する
との報告があります。人口減少の著
しい仙南医療圏の高齢者人口は横ば
いが続き、全国と同様に救急搬送の
6割以上が高齢者という状況に置か
れています。当院は、将来的にも医
療収支の別なく高度急性期及び救命
救急医療等を担っていかねればな
りません。一方で、生産年齢人口
の減少が確実に進み、自治体の税収
減少など財源確保に苦慮する事態は
避けられない状況です。国・県によ
る安定的な財政支援に加えて、救急
医療等を受受する近隣市町からの財
政負担の合意の確認が急務であると
考えています。
当院の『地域医療構想』を踏まえ
た果たすべき役割としては、①高度
急性期・急性期医療機能の強化、②診
療連携による救急医療体制の強化、



▲仙南医療圏で地域住民の命と健康を守る
みやぎ県南中核病院

③周産期医療の復活、④第2種感染
症指定医療の体制整備、⑤地域がん
診療連携拠点機能の強化等を掲げて
います。また、令和5年4月より公
立刈田総合病院が公設民営化に移行
しましたが、今後の連携と役割分担
が救急医療等の充実にとって重要な
視点となる筈です。
いずれにしろ、『人の命を守る』地
域医療の使命を果たす最終的な後押
しは、住民意識の高まりに他ならな
いと常々より考えてきました。20
25年は間もなくですが、どの医療
圏においても持続可能な医療提供体
制の構築には、医療再編と機能連携
が喫緊かつ重要な課題であると認識
するところです。
(9月19日記)

材料 2人分

- ・大根.....130g
- ・人参.....30g
- ・大葉.....2枚
- ・ツナ缶.....40g
- ・ごま油.....小さじ1/2
- 【A】
- ・しょうゆ.....小さじ1/2
- ・酒.....小さじ1

作り方

- ①大根、人参、大葉は千切りにする。ツナ缶は汁を切っておく。
- ②熱したフライパンにごま油を入れ、大根と人参を炒める。大根が透き通ったらツナ缶を加えてさらに炒める。
- ③Aで味をととのえて器に盛り大葉を飾る。



写真は1人分
【ひとり分栄養価】
エネルギー:94kcal 塩分:0.5g



令和5年度大河原町食育スローガン

「わが家(町)の食を伝えよう」

大根とツナの炒め物

調理担当ヘルスメイトより

常備している缶詰めで手軽
にたんぱく質をとりましょう。
大葉がアクセントになりお
いしくいただけます。
塩谷 敏子(西原区)

